

国立大学法人佐賀大学契約監視委員会（第1回）議事概要

開催日及び場所	平成28年 3月11日（月） 本部棟2階 大会議室	
出席委員 (敬称略)	<p>○委員長</p> <p style="text-align: center;">安 永 宏（安永法律事務所 弁護士）</p> <p>○委員</p> <p style="text-align: center;">峰 悦 男（峰公認会計士事務所 公認会計士）</p> <p style="text-align: center;">古 賀 寛 典（佐賀県県土づくり本部 建設・技術課長）</p>	
審議対象期間	工事・設計業務契約： 平成26年7月～平成27年9月 物品・役務等契約： 平成27年度上半期	
個別審査案件	7件	<p>○議 事</p> <p>(1) 平成26年7月～平成27年9月期工事・設計業務契約の審査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（本庄町1）理工学部大学院棟改修その他電気設備工事 ・（鍋島1）医病西病棟等改修その他機械設備工事 ・（鍋島1）医病中央診療棟等改修その他工事 ・（本庄町1）文教6号館等改修設計業務（建築・設備） <p>(2) 平成27年度上半期の物品・役務等契約の審査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀大学ICカード発行等業務 一式 ・看護衣の賃貸借及び洗濯請負業務 一式 ・「SGLT2阻害薬による動脈硬化予防の多施設共同ランダム化比較試験（PROTECT）」に係る臨床研究支援業務委託 一式 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議事概要の作成及び公表について ・個別案件の抽出について ・「一者応札・応募等事案フォローアップ票」について
一般競争入札方式	5件	
最低価格方式	3件	
総合評価方式	2件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式		
総合評価方式		
随意契約方式	2件	
企画競争	1件	
公 募		
競争性のない随意契約	1件	
不落随意契約		
事前審査案件		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	なし	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>1.平成26年7月～平成27年9月期工事・設計業務契約の審査について</p> <p>①（本庄町1）理工学部大学院棟改修その他電気設備工事 【一般競争入札（最低価格落札方式）】 （企画管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応札者が1者だが、こういうことが予想される場合はどうするのか。 ・ 当該案件で2者が辞退されたのは、配置予定技術者の確保ができなかったからか。 ・ ②の落札率が99%以上の事業はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該案件は結果的に応札者が1者となったものであるが、例えば、工事实績の条件の緩和ができないかどうかを検討する。 ・ この時期は、専任の配置予定技術者の確保が困難であるとして、業者が入札を辞退することが予想されたため、本来は配置予定技術者に同種工事の実績を求めるものであるが、当該案件では工事の実績までは求めなかった。 ・ そこははっきりしないが、当時は配置予定技術者を確保できない業者が多かった。 ・ この時期は、入札件数が多く不調、不落もかなり出た。 ・ この時期は、九州管内で129件程の入札があり、なおかつ、震災復興及びオリンピック等の影響により、資材費及び人件費の高騰があった。また、不調・不落もかなり多かった時期であり、九州管内で18件の事例があった。このような時期であったことが理由と考えられる。

<p>② (鍋島1) 医病西病棟等改修その他機械設備 工事 【一般競争入札(標準型総合評価落札方式)】 (企画管理課)</p> <p>・総合評価落札方式は、いくらからか。</p>	<p>・本学の場合5000万円から。当該案件は政府調達対象案件であるため、VE提案を求める方式である。 文部科学省は、政府調達基準額以下の工事については総合評価落札方式を簡素化する方向に向かっており、業者に負担となる技術提案書ではなく、業者の工事实績による実績評価型の方式を多用するようになっている。</p>
<p>③ (鍋島1) 医病中央診療棟等改修その他工事 【一般競争入札(標準型総合評価落札方式)】 (企画管理課)</p> <p>・もうすぐ完成か。工期は3月31日となっているが。</p> <p>・工期を延長することで、業者への影響は。</p> <p>・1者が辞退となっているが、理由は何か。</p> <p>・県では、設計・コンサルティング業者と施工業者に密接な関係がないよう、入札広告に設計・コンサルティング業者名を掲載することになっているが、大学はどのようになっているか。</p>	<p>・工期は3月31日となっているが、工事の進捗状況から来年度まで繰越して工期を延長する予定である。</p> <p>・工期を延長するので、請負代金額の変更を予定している。</p> <p>・辞退した理由はわからない。</p> <p>・同様にやっている。 ・そのことは、入札説明書に明記している。</p>
<p>④ (本庄町1) 文教6号館等改修設計業務(建築・設備) 【指名競争入札(標準型プロポーザル方式)】 (企画管理課)</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザルの技術提案書は、だれが審査するのか。 ・9者のうち7者が辞退しているが、理由はあるか。 <p>2. 平成27年度上半期の物品・役務等契約の審査について</p> <p>⑤ 佐賀大学ICカード発行等業務 一式 【一般競争入札（最低価格落札方式）】 （経理調達課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>⑥ 看護衣の貸借及び洗濯請負業務 一式 【一般競争入札（最低価格落札方式）】 （経営管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、1者応札か。 <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が100%とは、どういうことか。 <p>⑦ 「SGLT2 阻害薬による動脈硬化予防の多施設共同ランダム化比較試験（PROTECT）」に係る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学内規で選定委員を決めている。 《平成27年5月の委員名簿を配布》 ・当該案件は低額の案件であり、選定された業者に小さい設計業者が多いため、技術提案書作成の手間を嫌い辞退したのではないかと考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・毎年入札を行っており、1者応札となっている。 当該案件は入札公告以外に本学のホームページで学外に公表しており、そのことから、本学の仕様に対応できる業者は1者であると思われる。 ・予定価格は、看護衣の価格と洗濯料金からなっているが、物価上昇がないため前年度の実績額を採用している。その結果、落札率が100%となっている。
---	---

臨床研究支援業務委託 一式

【競争性のない随意契約】

(経営管理課)

- ・選定理由は、この業者しかできないからと、とらえてよいか。
- ・高い専門性を有していることは分かるが、他の業者にできなくて、この業者しかできないというところがあるのかを確認したい。
- ・それでは、形は1者との随意契約となっているが、事前に複数業者で検討したということか。
- ・この件は、「競争に付することが不利と認められる場合」に該当するか。

3. その他

○議事概要の作成及び公表について

- ・特になし

○個別案件の抽出について

- ・特になし

○「一者応札・応募等事案フォローアップ票」について

- ・この書式の最後の欄に委員名を記載することになっているが、これは、委員会ではなく、特定の委員がやるのか。
- ・次回からとしているが、今回は、フォローアップに該当するものがなかった、ということか。

- ・選定理由は、当該業者がデータマネジメントや統計解析業務、電子症例報告書に高い専門性を有しているということである。
- ・倫理審査委員会の審査前に行った、臨床研究の進め方に関する提案内容等で業者を選定していたからである。
- ・業者選定理由については、表記の仕方を含め、今後、検討したい。
- ・はい。

- ・委員会で点検し、委員会の総意として委員長名を書いていただくということで、お願いしたい。
- ・今回該当がなかったというわけではなく、今回は、時間的に審議が難しいと考えていた。今回は、工事案件を審議しないので、この件を次回に審議したいと考えて提案した。